

監査結果公表第17－34号

随時監査（工事監査）の結果に対する措置の通知の公表について

次のとおり監査結果に対する措置の通知がありましたので、地方自治法第199条第12項及び八尾市監査委員条例第8条の規定により公表します。

平成18年3月2日

八尾市監査委員	西 浦 昭 夫
同	北 山 諒 一
同	三 宅 博
同	田 中 久 夫

記

1 措置の通知

随時監査（工事監査）の結果に対する措置の通知

第1回工事監査

平成16年度福万寺排水区第8工区下水道工事

平成18年2月22日付け八土下建第195号

第4回工事監査

安中小学校校舎改造工事（第二期）

平成18年2月6日付け八建公第339号

2 問合せ先

八尾市本町一丁目1番1号

八尾市監査事務局

電話番号 0729-24-3896（直通）

3 その他

措置の通知については、市役所3階の情報公開室及び八尾市ホームページで閲覧できます。

八土下建第 195 号

平成 18 年 2 月 22 日

八尾市監査委員 西 浦 昭 夫 様

同 北 山 諒 一 様

同 三 宅 博 様

同 田 中 久 夫 様

八尾市長 仲 村 晃 義

監査の結果に対する措置の通知について

平成17年10月26日付け監査報告第17-7号の、随時監査の結果に基づく措置を別紙のとおり講じましたので、地方自治法第199条第12項の規定により報告いたします。

[土木部下水道建設課]

平成 16 年度福万寺排水区第 8 工区下水道工事

指摘事項	講じた措置又は経過の報告
(1)計画・設計について 発進立坑は鋼矢板締切工法ではなくφ3,000mm ケシング 圧入工法が採用され、発進に必要な止水対策として薬液注入工が、予定されていたが、矩形型の締切立坑とした場合の注入範囲が図示されていた。円形となるケシング 立坑の場合は、施工範囲の明示方法について検討されたい。	措置状況 4.その他（継続取組中） 薬液注入は地盤の透水性の低減および強度増加を目的として地盤改良を行うものですが、地中に注入された薬液の浸透方向等を人為的にコントロールすることができないため、地盤の性状や地盤の構成等により必ずしもきれいな円柱状を確保できるとは限らないというのが一般的であります。 したがって、設計上は便宜的に改良面積を算出するための短形の形状としているものです。 また、明示方法については、近隣都市と申し合わせたものでありますが、施工においては請負業者と十分協議を行い施工計画書に注入ポイントを図示する様指導しているところです。 今後においても、誤解を招かないよう適正な施工図面作成への指導を徹底していきます。
(2)積算について φ3,000mm ケシング 発進立坑に適する工法として泥濃式推進工法を選定しているが特殊な発進立坑においては、所定の日進量が一般の泥濃式推進工法に比べ作業効率の関係で低下してくる考えられるので、今後の参考に施工実績をよく調査し整理しておくことが望まれる。	措置状況 4.その他（継続取組中） 本工事は、推進延長、土質条件、施工条件により泥濃式推進工法を採用しました。 本工事における工法は、ジャッキ部が上下に開閉しスペースを生み、立坑から先掘りで挿入する鞘管と併用でスムーズに作業できるよう工夫された工法となっております。 本工事の施工実績は、ほぼ標準の日進量となりましたが、今後も引き続き施工実績については、整理していきます。
(3)施工について ア 発進立坑における薬液注入工法の一部の範囲に、より止水に対する信頼性が高い JSG 工法が請負業者からの施工協議により採用されているが、その他の範囲は水ガラス系の従来工法によるものであり、この水ガラス系の薬液注入範囲の出来高確認については、所定の注入量が変更になった範囲に対して行うよう対象数量を整理し確認することが望まれる。	措置状況 1.措置済み（17 年 8 月 29 日） 変更となった範囲を対象に整理しました。 今後においても出来高確認が、的確にできるように書類整理を行います。

指摘事項	講じた措置又は経過の報告	
イ コンクリート及びアスファルトがらの処理伝票（マニフェスト）において数量表示の単位欄に○印が漏れていたもので留意されたい。	措置状況	1.措置済み（17 年 8 月 29 日）
		今後は記入漏れのない様に指導を徹底します。
ウ 人孔内部におけるインバートの張石の施工状況について、張石の大きさ(30×30cm)の為か、管の底部と石張りの最深部が一致していないところが見られた。これは昨年度と同種工事の監査時にも見られ監査結果に関する報告を行い、平成 17 年 4 月 27 日付けの措置の通知では、石張りサイズについては、実態調査等を行い再検討して行くとの事であったが、速やかな検討が望まれる。	措置状況	4.その他（継続取組中）
		石の張り方については、流入出の角度・数等を考慮し人孔内に汚物が、堆積しないよう、勾配をつけて割付を行っています。 石の大きさについては、大きすぎるとご指摘のような事案が見受けられ、また、小さすぎると目地が多くなり洗掘に対する耐久性が劣ることが懸念されるため、人孔径、管径に見合った石の大きさを選択するよう引き続き検討していきます。
エ 今後は、東西方向のサービス管の施工が行われる予定であるが、一般歩行者、幼稚園児等の通行や車輛の出入りに対し万全の安全対策を行うと共に、立入り防護策を十分に設置して施工されたい。	措置状況	1.措置済み（17 年 11 月 29 日）
		安全対策について、幼稚園との連絡調整を密にし行事予定を把握しながら現場管理を行い竣工しました。
オ 大阪府東部流域下水道事務所の新設マンホールに接続するため、この一部を本工事にて取り壊し再施工することになっているが、完成後の状態について大阪府担当部署の確認を受けておかれたい。	措置状況	1.措置済み（18 年 1 月 30 日）
		大阪府東部流域下水道事務所の竣工検査により確認を終えました。

八 建 公 第 3 3 9 号
平成18年 2月 6日

八尾市監査委員	西	浦	昭	夫	様
同	北	山	諒	一	様
同	三	宅		博	様
同	田	中	久	夫	様

八 尾 市 長 仲 村 晃 義

監査の結果に対する措置の通知について

標記の件について、平成18年1月26日付け監査報告第17-9号の、工事監査の結果に基づく措置を別紙のとおり講じましたので、地方自治法第199条第12項の規定により報告いたします。

随時監査(工事監査)の結果に対する措置の内容
 建築都市部公共建築課
 安中小学校校舎改造工事(第二期)

No.1

指摘事項	講じた措置又は経過の報告
設計について ・今回、初めて間仕切りとして木製 スカルプ・テーションが採用されている が、ヒリングによれば従来品と比べ 費用増とのことである。現在の市 の財政状況、今後の校舎の耐震補 強及び更新需要も踏まえコスト削減 意識を反映した設計に配慮されたい。	措置状況 2.措置予定 予算担当課と連携して情操教育に対する効果も勘案しながらコスト削減 を図る設計に努めます。
積算について ・設計書の一部に単価の不整合が見 られたので、整理されたい。	措置状況 2.措置予定 設計書の単価の整合性を図るように努めます。
伺書について ・八尾市公文書公開条例の規定に基 づく取扱区分の記入で疑義のある ものが見受けられたので留意され たい。	措置状況 2.措置予定 条例の規定をよく理解し適正に対処します。
施工について ・設計変更で追加される屋上防水に ついて、特記仕様書を追加指示さ れたい。 ・木くずの処理伝票(マニフェスト票)の 扱い数量の単位について、m ³ の ものと kg のものが見られた。 処理に関する集計票では全て t (ト)表示であったので、集計表の 数量根拠を t と m ³ の換算率がわか るようにし計算を付記しておくこ とが望まれる。 ・既存構造躯体の一部に建設当時の 型枠材の一部が付着しているところ が見られたので、補修処理を行 ってから内装工事を施工すること が望まれる。 ・屋上防水工事について、既存の抑 えコンクリートの排水勾配が十分に確保 されていないところが見られたの で、調整を施すことにて水溜りが発生し ないよう処理する等の対応後に、 所定の防水工事に着手されたい。	措置状況 1.措置済(17年11月14日) 防水の特記仕様書を追加しました。 措置状況 1.措置済(17年11月14日) 換算表と換算値を集計表に添付しました。 措置状況 1.措置済(17年11月18日) 既存の型枠材を取り補修しました。 措置状況 1.措置済(17年11月18日) 水の溜りやすい部分を調整しました。

指摘事項	講じた措置又は経過の報告
・現場の入り口に掲示されている施工体系図について、1次下請負業者のみ記載されていたが、表示方法を横書きにする等検討し2～3次下請負業者も表示しておくことが望まれる。 ・工期は2月末日ではあるが、所定の検査や仮設校舎からの移動を考慮すると出来る限り早期に竣工させることが必要であると思われるので、工程の検討をすることが望まれる。	措置状況 1.措置済(17年11月14日)
	下請負業者をすべて施工体系図表に追記しました。
	措置状況 2.措置予定
	学校等の打ち合わせを密にして早期に竣工させる様努めます。